

Hello~!「令和」

地元のトピック

新元号が発表され、いよいよ5月1日から令和元年がスタート。
時代の節目にあやかった、練馬・板橋の地元ネタを探してみました!

板橋の図書館で速攻対応! 「新元号」コーナー



4月2日にお目見えた「新元号」特集

4月1日に新元号「令和」が発表された翌日、板橋区立氷川図書館で万葉集にちなんだ書籍や資料を約60冊集めた「新元号」特集コーナーが設置されました。

日本の古典に由来する元号は初めてということで、担当の稲垣さんにズバリ万葉集の魅力を聞いてみました。

「歌を詠み交わす文化はもちろん、厳しい身分制度があった時代に、さまざまな身分の人たちが詠んだ歌が1つの書物になっていること自体が素晴らしいです」

新紙幣の発表後は、すぐに北里柴三郎・津田梅子・渋沢栄一の特集コーナーが登場。仕事が速いです!!

■板橋区立氷川図書館
板橋区氷川町28-9 ☎3961-9981



赤塚植物園の「万葉・薬用園」では、万葉集に読まれた植物や薬用植物を観察することができます。

■赤塚植物園 板橋区赤塚5-17-14

練馬の新婚さん、 5月1日にいらっしやい♡



記念撮影スポット(イメージ写真)

改元当日に婚姻届を出す「令和」婚を予定しているカップルは多いのではないのでしょうか。練馬区役所ではそんな2人のために、5月1日、婚姻届専用の臨時窓口を開設するそうです(9時~17時)。本庁舎1階アトリウムには記念写真撮影スポットが登場! ミニ三脚と台が用意されているので、日付入りのパネルと一緒に自撮りで記念撮影ができるんです! さらに区からお祝いのメッセージカードももらえるそう。

「元旦や七夕など縁起の良い日に大安などが重なると、婚姻届出数は一気に増えるので、5月1日は普段の休日より多くの職員を臨時窓口配置します。ちなみに、平均届出数は1日10件程度。ミレニアム婚の2001年1月1日は323件でした」と、戸籍住民課の田邊課長。

さあ、令和元年が始まる日、何組の夫婦が誕生するのでしょうか?

「令和」の幕開けは ゴージャスポテチと共に!



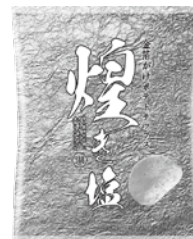
箱入りの「ポテトチップス 煌き塩」。
5月1日、ローソンにて数量限定発売

成増に本社を構える株式会社湖池屋から、金箔がけ「ポテトチップス 煌(きらめ)き塩」が5月1日に発売されるとの情報キャッチし、さっそく広報担当の小幡さんに話を聞いてきました。

「新しい時代の幕開けに伴い、特別な商品が作れないかと考えました。華やかな金箔がけのポテトチップスで“令和”になる瞬間を盛り上げ、楽しんでいただけたらうれしいですね」

“平成31年4月30日”と大きく書かれた「平成最後のポテトチップス 濃いめり塩」(店舗取り扱いは終了)が話題になったばかりの湖池屋。時代を先取りするポテトチップス、これからも目が離せません!

黒い箱の中には金色に輝くポテチの袋が!



新1万円札の渋沢栄一と 板橋の深〜い関係?!



大正14年に建立された敷地内の銅像。
除幕式には本人も出席したそう

新元号の発表と同時期に、20年ぶりの紙幣刷新が発表されましたね。実は新紙幣の1万円札の顔となる渋沢栄一は、91才で亡くなるまでの約50年間、板橋区にある東京都健康長寿医療センターの前身である養育院の院長を務めていた人なんです。孤児や困窮者のための保護施設として、明治5年に創設された養育院。現在は病院と研究所が一体となった新施設となり、「養育院・渋沢記念コーナー」には、これまでの歴史を物語る貴重な資料や写真などが展示されています。新1万円札を手にする瞬間が今から楽しみです♪

センター内にある「養育院・渋沢記念コーナー」

■地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
板橋区栄町35-2

